

平成 29 年 5 月 8 日

千葉木鶏クラブ

(382 回 例会)

日本人としての在り方

「ゆく川の流は絶えずして、しかも、もとの水にあらず」 『方丈記』

薫風が心地よく吹き抜ける五月、初夏が心地よい。

日本人は、四季折々の山紫水明の自然な風土に培われ幸福感を味わうものの、あざなえる縄のごとくで、不変に見える川の姿はもとの水にあらず、世の中の諸行は無常である。

今、日本人の在り方が問われています。

どなたでもいつでも歓迎の千葉木鶏クラブです。

皆様のお越しをお待ちしています。

記

1. 日 時 : 平成 29 年 5 月 27 日 (土)
PM 16 時 00 分 ~ 18 時 00 分
2. 場 所 : 千葉市生涯学習センター ミーティングルーム (3 F)
電話 : 043-207-5811
<交通案内> JR 千葉駅東口から徒歩 8 分
3. 会 費 : 1000 円
4. 演 題 : 日本人としての在り方
5. 講 師 : 安岡正篤先生 (テープにて拝聴)
6. 内 容
 - (1) オープニング
 - (2) 日本は崩壊過程にある
 - (3) 徳性の教育を忘れた日本
 - (4) 現代は自己疎外の時代
 - (5) お経と教育
 - (6) 分析主義の危険性について

[千葉木鶏クラブ 代表兼事務局 丸島 忠夫 Email : marushima_t@snow.plala.or.jp](mailto:marushima_t@snow.plala.or.jp)

[Tel : 0475-25-1211](tel:0475-25-1211)